

この度は、弊社製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

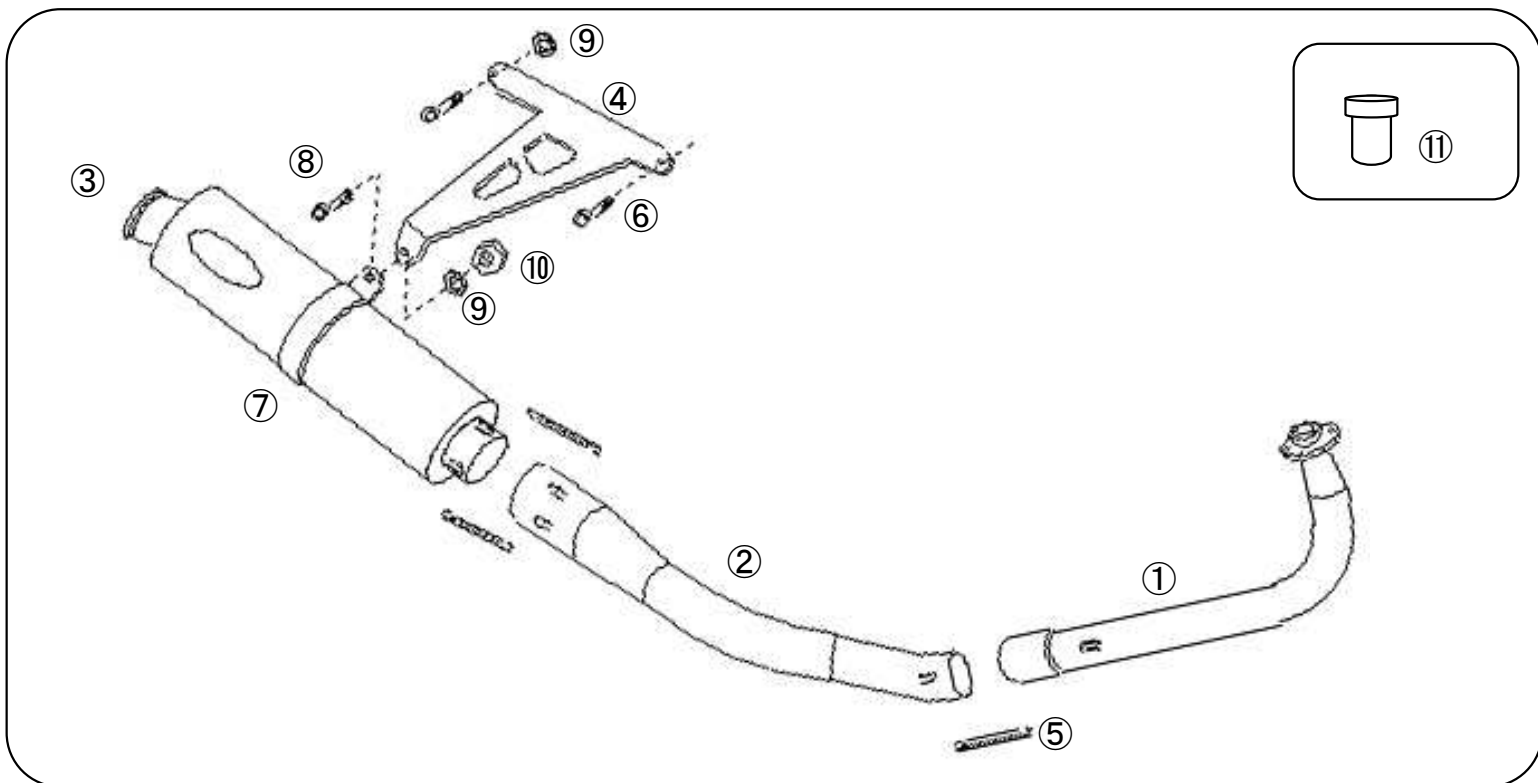
この製品はKSR110用です。適合以外の機種(車両型式・年式)には使用できません。(装着できた場合でも性能は保証を致しかねます)

この製品は、サーキット等のクローズドコースでの使用を前提に設計されており、各種規制には適合していません。

取付けに関しましてはメーカー発行のサービスマニュアル及び当説明書をお読みいただき十分ご理解いただいた上で作業を行って下さい。

作業は必ずエンジンが冷えた状態で、且つ車体が安定した状態で行って下さい。

その他、取付け作業に関してご不明な点などございましたら、当社までお問い合わせ下さい。



①純正マフラーの取り外し

純正サービスマニュアルの指示に従って、シート・シートカウル等を取りはずし、次にフランジ部のナット、サイレンサー部分のボルト2本をゆるめ、純正マフラーを取り外します。このマフラー取り外しの際のボルト、ナット類はマフラーを取り付けるときに使用しますので無くさないように注意して下さい。また、ガスケットは新品に交換して下さい。

※13-の車両のマフラーに接続されていた純正二次エアホースの先は⑪二次エアホースプラグで塞ぎます。

②サイレンサーステーの取り付け

④サイレンサーステーを付属の⑥M8-15ボルトx2本、⑨ワッシャー-M8x1枚を使用して、純正マフラーを取り外したシートフレーム部分に取り付けます(上図参照)。ボルトは仮締め状態にしておき、後の調節後に本締めします。

③エキゾーストパイプ・テールパイプの取り付け

エンジンにエキゾーストパイプ取り付けます。この時、フランジ部のナットは仮止めの状態(取り付けパイプが少し動く程度)にしておいて下さい。次に、エキゾーストパイプにテールパイプを差し込み、スプリングを掛けます。

④サイレンサーの取り付け

テールパイプにサイレンサーを奥まで差し込み、サイレンサーバンド・帯ゴムをサイレンサーに取り付けた上で、サイレンサーステーに⑧M8-20ボルト、⑩ナットM8、⑨ワッシャー-M8を使用して仮付けします。次にスプリングを掛けます。

パーツリスト(梱包内容)

図番	パーツ名	数量
①	エキゾーストパイプ	1
②	テールパイプ	1
③	サイレンサー	1
④	サイレンサーステー	1
⑤	スプリング	3
⑥	ボルト M8-15	2
⑦	サイレンサーバンド	1
⑧	ボルト M8-20	1
⑨	ワッシャー M8	2
⑩	ナット M8	1
⑪	二次エアホースプラグ	1

⑤各部の本締め

仮止めしたフランジ部のナットを本締めします。この際、フランジ部が傾いたりしないよう、左右のナットは均等に締め込んで下さい。このとき、エキゾーストパイプと車体の干渉が無いようにパイプの角度を調整してください。また、締め過ぎはスタッドボルトの破損を招きますのでご注意ください。次にサイレンサーステー、サイレンサーバンドのボルト、ナットを本締めして下さい。パイプ本体と同様に、各部の車体との干渉に注意して取り付けてください。

⑥カウル類の装着

シートカウル・シートなど、最初に取り外した純正パーツを取り付けます。

⑦最終確認

以上で作業は終了です。マフラーに付着した汚れをよく拭き取ってからエンジンを始動して下さい。エンジンを始動したら、車体への干渉、排気漏れ等がないかどうか確認して下さい。※本製品は車体とのクリアランスが非常にシビアになっています。各部クリアランスには充分にご注意ください。

※エキパイに指の皮脂等が残ったまま熱が加わると、焼けムラの原因になります。十分脱脂を行って下さい。

※サイレンサーのエンブレム部にビニールシートが張り付けてある場合は事前に剥がして下さい。

※定期的にボルト・ナットの緩みが無い事を確認し、必要があれば増し締めを行ってください。

●グラスウール(消音材)は消耗品です。主な消耗の例としては、「排気圧によるグラスウールの飛散」、「カーボン(スス)の堆積による目詰まり」、「水分を含む事による消音能力の低下」、等があり、消耗の進み方は走り方や環境によって大幅に変わります。グラスウールの飛散はほぼ使用期間に比例しますが、その他のケースは使用状況によってはごく短期間で発生する場合があります。主な原因は吸気系/点火系の不具合や乗り方によるカブリ症状から起こるカーボンの堆積、雨水や燃焼時の水分が排出されずにいる事から起こる水分の滞留などです。カーボンの発生は定期的なメンテナンスやカブラせない乗り方を意識する事で防ぐ事ができ、サイレンサー内に一時的に溜まった水分は、高回転域を使用する事で蒸発→排出されますので、定期的に適度に回して乗る事で解消する事ができます。(スピード違反を推奨するものではありません。安全に法令遵守の範囲でお願いします。)

グラスウールが消耗した状態での走行は周囲の迷惑になるだけでなく、マフラー及び車両の故障に繋がる場合がありますので、音量の増加等、グラスウール消耗の症状が表れた際はサイレンサーのオーバーホールサービス(有償)をご利用ください。

●走行時、走行後は大変マフラーが高温になっています。火傷にお気を付け下さい。

●シンナー等の強力な有機溶剤は本製品には使用しないで下さい。

●転倒等に伴う修理に関しましては、状態によりお受けできる場合と出来ない場合がございます。電話・メール等にてお問合せ下さい。その他ご不明な点ありましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

NOJIMA ENGINEERING

〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町7265-7 TEL:059-378-3505 FAX:059-370-7811

WEB: <http://www.nojima-japan.co.jp> MAIL: info@nojima-japan.co.jp

NMM641TI-DRS